

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	35	災害時に素早く安全に避難できるか不安がある	素早く安全に避難できる方法を職員が身につける。 特に地震や津波が発生した場合の避難訓練を行う。	消防署の指導による避難訓練時(年2回)や地域の防災訓練時に、地震や津波を想定した避難訓練を行う。	12 か月	毎年2回、消防署員来所され火災訓練を実施。毎年1回、地区の津波避難訓練に参加。
2	6	運営に関する家族等の意見が少ない	家族会を年1回は実施する。	ご家族に行事の案内をして、できるだけ多く参加していただき、意見を伺う。 月1回の近況報告以外にも、ご家族に連絡をとって、意向を引き出すように努める。	12 か月	家族会を年に1回と、行事ごとに案内を出しているが未だ未だ参加される事が少ない。良い事も悪い事もその都度、御家族との報連相を行っている。
3	23	利用者の思いや意向を把握することが難しい	利用者個々の思いや意向を把握して介護計画に反映する。	アセスメント様式を活用し、利用者それぞれの思いや意向の把握に努め、介護計画に反映させていく。	12 か月	日頃から入居者の表情・言動に注意を回り、個人記録に記入し職員間で情報を共有し、ご家族様にも生活に対する意向をお聞きし個々のケアに反映している。
4					か月	
5					か月	